

第3学年C組 保健体育科授業案

公開 I 育 朋 館
授業者 角谷 諭

1 単 元 ギャップアタック 空いている門を攻めろ (ボールゲームⅣ・ハンドボール)

2 単元の構想

(1) 本単元で目ざす子どもの姿

ハンドボールに出会った子どもは、速いパス回しからディフェンスの隙をつきシュートを打つことが大切だと気づき作戦を考え始める。チームのシュートが決まった映像や作戦がうまくいかない試合を分析する中で、多彩な攻撃シフトやカットインされない守備シフトを追究することの重要性に気づき、チームワークを意識しながら、運動に関わっていく。

(2) 本単元で伸ばしたい力

前単元のアルティメットでは、スペースを生み出す作戦や、スロワー、キャッチ、おとりなどの一人一人の特徴を生かすための作戦を考える中で、集団の動きのよさに気づく力を高めてきた。また、ねらったプレイををめぐし、一人一人が役割を果たすことをとおしてチームでの連携を高め、人との関係を築く力を高めてきた。

本単元では、ソフトハンドボールを使い、ハンドボールを行う。ハンドボールは、ボールを手で扱うため操作しやすい。また、フィールド4人、キーパー1人の少人数で行うことで、一人一人が責任をもって取り組むことができ、攻撃しやすい。その中で、パス回しから相手を崩す攻撃シフトやカットインされない守備シフトなどを仲間とともに考えることで、集団の動きのよさに気づく力を伸ばしたい。また、単元のまとめとして、ハンドボール大会を行い、自分たちで企画・運営することをおして、仲間との連帯感を意識し、人との関係を築く力を育てていく。

(3) はたらきかけと「学んだこと」を行動につなげる子どもの姿

出会う段階では、ルールを確認した後、繰り返しゲームを行う。シュートやパスが思うようにいかないことに気づいた子どもは、スムーズなパス回しから、力強いシュートが打てるようになることが大切だと考え、パス練習やシュートを打つための作戦を考え始める。

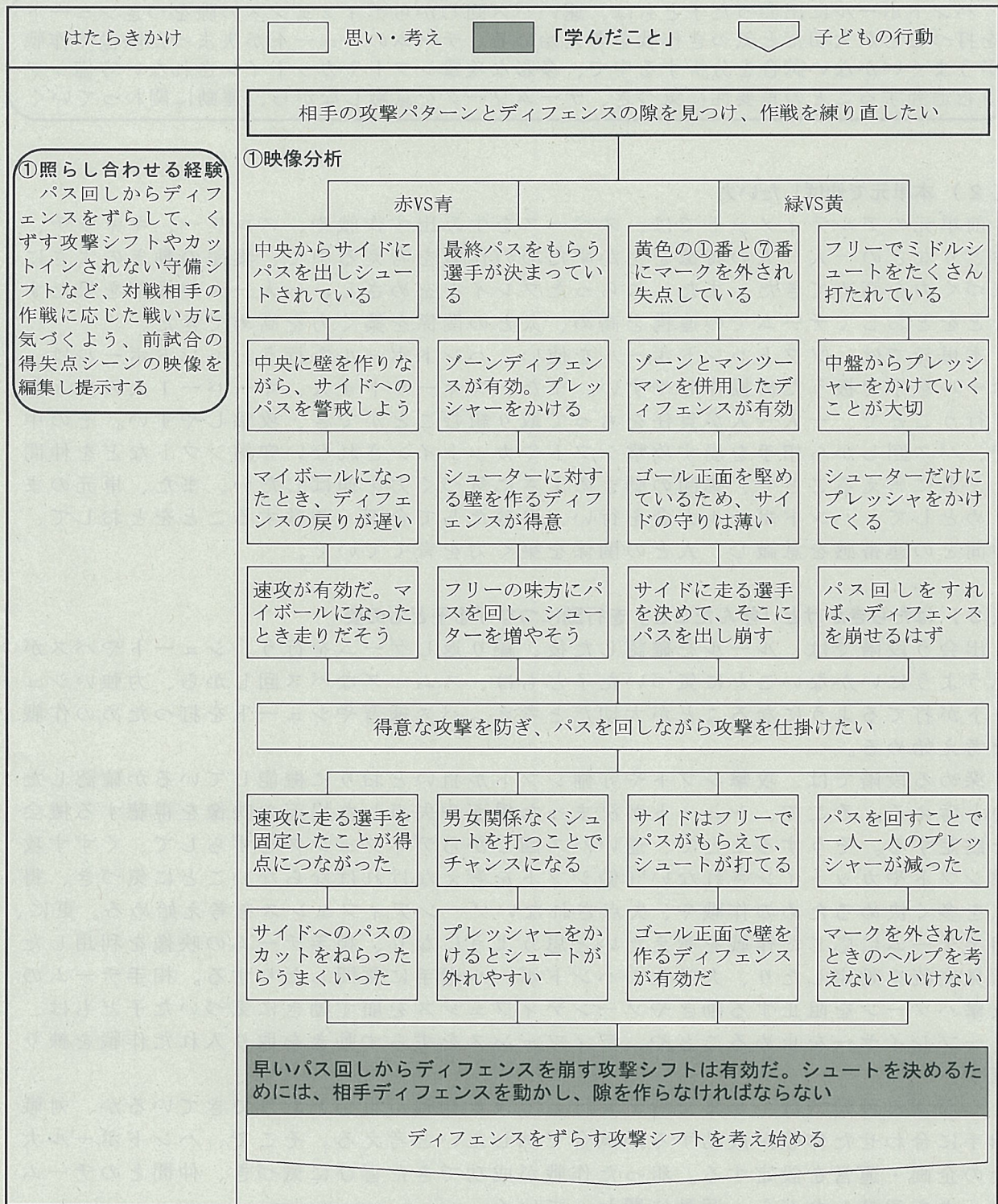
深める段階では、攻撃シフトや守備シフトが狙いどおりに機能しているか確認したいと考える。そこで、シュートが決まった場面や失点した場面の映像を視聴する機会を設定する。そうすることで、速いパス回しからディフェンスをずらして、くずす攻撃シフトやカットインされない守備シフトを考えなければならないことに気づき、得点を多く決めるための作戦や、失点されないゾーンディフェンスを考え始める。更に、相手チームに応じた作戦を考えたいと思うようになり、相手チームの映像を利用した意見交流を設定したり、大学生のハンドボール選手に質問したりする。相手チームの攻撃パターンを阻止する動きやゾーンディフェンスを崩す動きに気づいた子どもは、キープレイヤーを止めることや、ディフェンスをずらす動きを取り入れた作戦を練り直す。

つなげる段階では、今まで考え実行してきた作戦が狙いどおりできているか、対戦相手に合わせた作戦が成功するか試合で試したいと考える。そこで、ハンドボール大会の企画・運営を設定する。狙った作戦が成功できた喜びに気づき、仲間とのチームワークを意識しながら、運動に関わっていく。

4 本時の構想 (8/14)

附中ハンドボールに出会った子どもは、繰り返し試合を行う中で、出場メンバーの特徴を生かしたフォーメーションを考える大切さに気づき、試合ごとに作戦を更新してきた。コートの中盤でパスカットをねらい、そこから速攻を仕掛けたり、ゴール前でカットインプレイを取り入れたりするなど、攻撃面を工夫してきた。守備では、オールコートマンツーマンを試したり、ゾーンディフェンスに挑戦し始めている。

本時では、教師が編集した前対戦したときの映像を利用し、チームごとに動きの分析を行う。分析をとおして、相手の得意な攻撃パターンを防ぐ方法を考えたり、相手ディフェンスの隙を見つけたりする。また、一人一人の役割を果たせていない部分にも気づき、作戦を練り直し、動きを確認し始める。新たな作戦を試合で試す中で、速いパス回しやサイドチェンジをする動きなど、相手ディフェンスを動かす有効性に気づき、さらに作戦を工夫し始める。



5 単元構想表 (14時間完了)

【第7時終了時】

段階	主なはたらきかけ	<input type="checkbox"/> 思い・考え <input checked="" type="checkbox"/> 「学んだこと」 <input type="checkbox"/> 子どもの行動	保健体育科で重視する力
出会う		ハードルでは、タイムが向上する工夫をしながら楽しんだ アルティメットでは、作戦を追究する活動ができた	
		ハンドボールとはどんなスポーツかな。ゲームをしてみたい 1時～3時	
		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>片手でボールが握れるため、パスやシュートが打ちやすい</p> <p>コントロールよく、力強いシュートを打ちたい</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>柔らかいボールなので、ドリブルよりもパスがよい</p> <p>スムーズなパス回しができるポジションを考えたい</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>ゴール型だが、接触禁止なので、安心してプレイできる</p> <p>ゴールの高さが低いので、ゴールキーパーが守りやすい</p> </div> </div>	
		スムーズなパスから力強いシュートが打てるようになることが大切だ。そのための作戦を考えなければいけない	
		パス練習や、シュートを打つための作戦を考え始める 4時～10時 (本時8)	
		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>ポストプレイを使うと、ディフェンスをかわして打てる</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>パスを回し、空いたスペースからカットインできるな</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>ポストプレイヤーをしっかりマークしたら、失点が減った</p> </div> </div>	
		ディフェンスを崩してずらす攻撃シフトや、カットインされない守備シフトを考えたい	
		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>左サイドから、突破できそう。そのための作戦を考えたい</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>相手の作戦をよむとディフェンスをくずしやすい</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>ゾーンディフェンスで組織的に守れるとカットインできない</p> </div> </div>	
		相手チームに合わせた攻撃や守備の作戦を考えることが大切だ キープレイヤーのマークや相手ディフェンスの隙をつく作戦を練る 11時～14時	
		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>今までの作戦の高まりを、大会で発揮したい</p> <p>他のクラスとも大会を通じて交流したい</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>ねらいどおりの作戦ができているか確認したい</p> <p>連携をするためには声かけが大切だ</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>キープレイヤーのマークをすると、パスカットができる</p> <p>盛り上げるために、応援を工夫したい</p> </div> </div>	
ディフェンスを外してのジャンプシュート、カットインされない守備など、仲間と連携して運動することはおもしろい			
仲間とのチームワークを意識しながら、運動に関わっていく			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>他のクラスとの大会をとおして、交流が深まった</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>仲間と連携した動きをすることが大切だとわかった</p> </div> </div>			

○動きを照らし合わせる
ハンドボールのルールを理解できるように、ルールの説明をした後、繰り返し試合を行う

○動きを照らし合わせる
相手チームの特徴をチームの作戦に反映したいと気づくよう、対戦するチームの映像を利用し、チームごとに意見交流を設定する

○動きを照らし合わせる
ディフェンスの崩し方やカットインされない守備の仕方などチームの問題を解決するために、大学生ハンドボール選手と交流する時間を設定する

☆個の動きのよさに気づく力
・パスやシュートが確実にできるよう、投げ方や取り方を考える

☆集団の動きのよさに気づく力
・映像を利用し分析したことをもとに、仲間との連携した作戦を考える

☆人との関係を築く力
・作戦を遂行するために、連携した動きができているか、大会で試す